

1 シェイクアウト訓練（調整担当：白石区役所）

実施時間（9：30～9：35）

9:30	9:40	9:50	10:00	10:10	10:20	10:30	10:40	10:50	11:00	11:10	11:20	11:30	11:40	11:50	12:00
															

訓練会場

東部水再生プラザ北側敷地（メイン会場）

訓練想定

石狩中部を震源としたM7.3の直下型地震が発生、市内数か所において震度7を観測し建物の倒壊や火災が随所で発生した。

訓練概要

- (1) 緊急地震速報（音源）を放送、その後会場が揺れている映像を放映後、その場で約1分間、安全行動の1-2-3（まず低く、頭を守り、動かない）をとる。

参加団体及び人員

訓練参加者全員（運営本部及び業務要員除く）

参加車両等

なし

必要資機材

大型ビジョン放映用映像

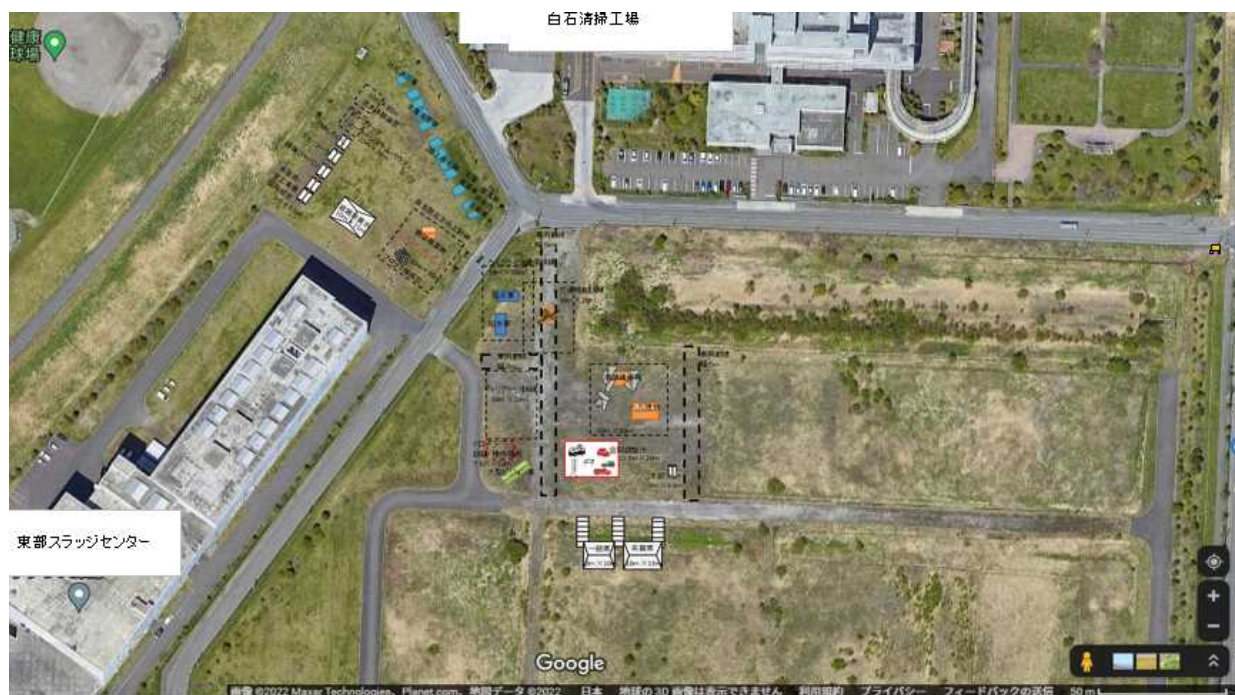
- (1) 会場映像（現場で撮影・カメラを揺らした映像）
- (2) 緊急地震速報音源（受託業者にて用意）

訓練行動

- | | |
|-------|--|
| 09:30 | シェイクアウト訓練説明アナウンス |
| 09:33 | 緊急地震速報音声
会場ライブ映像（カメラを揺らしたもの）
訓練参加者全員で安全行動の1-2-3を1分間とる。 |
| 09:34 | 避難に関する解説 |
| 09:35 | 終了 |



会場図



備考

2 白石区災害対策本部設置運用訓練（調整担当：白石区役所）

実施時間（09：35～09：45）

9:30	35	40	45	50	55	10:00	05	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	11:00

訓練会場

東部水再生プラザ北側敷地（メイン会場）

訓練想定

石狩中部を震源としたM7.3の直下型地震が発生、市内数か所において震度7を観測し建物の倒壊や火災が随所で発生した。

訓練概要

(1) 白石区災害対策本部

参加団体及び人員（計8名）

- (1) 白石区役所（7名）
区長、各部長（4名）、総務企画課長、維持管理課維持係長
- (2) 白石消防署（1名）
情報連絡員として1名

参加車両等（計0台）

なし

必要資機材

白石区災害対策本部

- (1) テント 1張（会場設営業者にて用意）
- (2) 机 6台（会場設営業者にて用意）
- (3) イス 10脚（会場設営業者にて用意）
- (4) ホワイトボード 2台（会場設営業者にて用意）
- (5) 札幌市地図 1枚（白石区役所にて用意）
- (6) 白石区地図 1枚（白石区役所にて用意）

訓練行動

- 09：35 区長による白石区災害対策本部設置を宣言
- 09：36 白石区役所は区災害対策本部を設置し、消防、警察、自衛隊等、各関係機関へ（市災害対策本部を通じた）協力依頼と避難所開設に向けた指示を行う。
- 09：38 区災害対策本部において土木部維持管理課からの橋梁点検報告を受ける。
※橋梁点検報告は放送席からの合図により実施
- 09：40 白石区災害対策本部設置や署隊本部設置の写真を用いた説明
終了（本部の設置は訓練終了まで継続）

会場図



備考

イメージ



1 災害対策本部の設置（９時３６分頃）

(1) 災害対応の指示（区長）

９時３０分に札幌で震度 7 の大きな揺れを観測しました。

ただいまから手稲区災害対策本部を設置します。災害対策副本部長は市民部長、土木部長、保健福祉部長、福祉担当部長といたします。

副本部長は所管の各班に対し、直ちに第三非常配備体制をとって、災害対応に当たるよう指示してください。

まずは、区内の被害状況について早急に情報収集を行い、関係機関と連携を密に図りながら、区民の安全確保・人命救助を最優先に迅速な行動を取るように。

なお、現地対応する職員については、余震による二次災害等に十分注意して活動してください。以上。

2 橋梁点検報告（９時３８分頃）

<放送席からの合図により本部席に土木部維持係長が入場>

<区長起立>

① 土木部維持係長

区災害対策本部の土木班です。橋梁等の被害状況について、本部に緊急報告を行います。

〇〇橋、緊急点検の結果、現時点では損傷等は認められませんでした。

〇〇橋、同じく現時点では損傷等は認められませんでした。

<報告書を、区長に手渡す>

② 区長

報告ありがとうございます。余震等に十分注意しながら、引き続き調査をお願いします。

③ 土木部維持係長

了解しました。調査完了次第、随時ご報告致します。

<退場。区長着席>

3 自主防災力向上訓練（調整担当：白石消防署）

実施時間 (09 : 40～10 : 10)

9:30 9:35 9:40 9:45 9:50 9:55 10:00 10:05 10:10 10:15 10:20 10:25 10:30 10:35 10:40 10:45 10:50 10:55 11:00 11:05 11:10 11:15 11:20 11:25 11:30

[illegible]

訓練会場

東部水再生プラザ

訓練想定

石狩中部を震源とした札幌直下型地震が発生、白石区では震度 7 を観測し建物の倒壊や火災が随所で発生した。白石消防団員及び地域住民が災害初期対応を行う。

訓練概要

- (1) 要救助者救出訓練（倒壊家屋・ブロック塀）
- (2) 担架作成・搬送訓練
- (3) 応急手当訓練（三角巾）

参加団体及び人員（4団体 計35名）

- | | | |
|-----|-------------|-----|
| (1) | 白石区連合町内会 | 16名 |
| (2) | 札幌国際プラザ | 8名 |
| (3) | 白石消防団（訓練指導） | 8名 |
| (4) | 白石消防署（進行管理） | 3名 |

参加車両等 (計 0 台)

なし

必要資機材

- ### (1) 要救助者救出訓練

- | | | |
|---|---------|--|
| ア | 座屈建物 | 2棟(会場設営業者にて用意) |
| イ | 倒壊ブロック塀 | 4枚(会場設営業者にて用意) |
| ウ | 訓練用ダミー | 4体(他区消防署から借用及び区配分予算にて1体購入) |
| エ | ジャッキ | 2基(自主防災資機材 危機管理対策室にて用意) |
| オ | 金てこ | 2本(自主防災資機材 危機管理対策室にて用意) |
| カ | 廃材等 | 角材数本(ジャッキ(金てこ)アップ支持用 会場設営業者にて用意)、廃材木材・適当量(演出用・白石消防署保有)、ブロック片・適当量(演出用・会場設営業者にて用意) |
| キ | 軍手 | 48双(白石区役所で購入) |
| ク | ヘルメット | 8個(白石消防署保有) |
| ケ | コンパネ | 4枚(ジャッキ(金てこ)アップ用白石消防署保有) |

- ## (2) 担架作成・搬送訓練

- | | | |
|---|------------|-------------------------|
| ア | 折り畳み担架 | 4組(自主防災資機材 危機管理対策室にて用意) |
| イ | 毛布 | 4枚(白石消防署保有) |
| ウ | 担架作成用スチール棒 | 10本(白石消防署保有) |
| エ | 衣類 | 数枚(トレーナー等 職員にて用意) |
| オ | 椅子 | 2脚(白石消防署保有) |

カ	レサシアン	2 体(白石消防署にて用意)
(3)	応急手当訓練	
ア	三角巾	4 0 枚(会場設営業者にて用意)

訓練行動

09:35 白石消防団員が待機場所から所定の訓練実施場所へ移動する。

要救助者救出訓練開始

09:40 町内会市民等が自主防災資機材セットを展開し、ジャッキや金てこを取り出す。
 09:45 白石消防団員の指導の下、家屋やブロック塀の下敷きとなっている要救助者（ダミー人形）を救出する。
 09:50 要救助者救出訓練終了

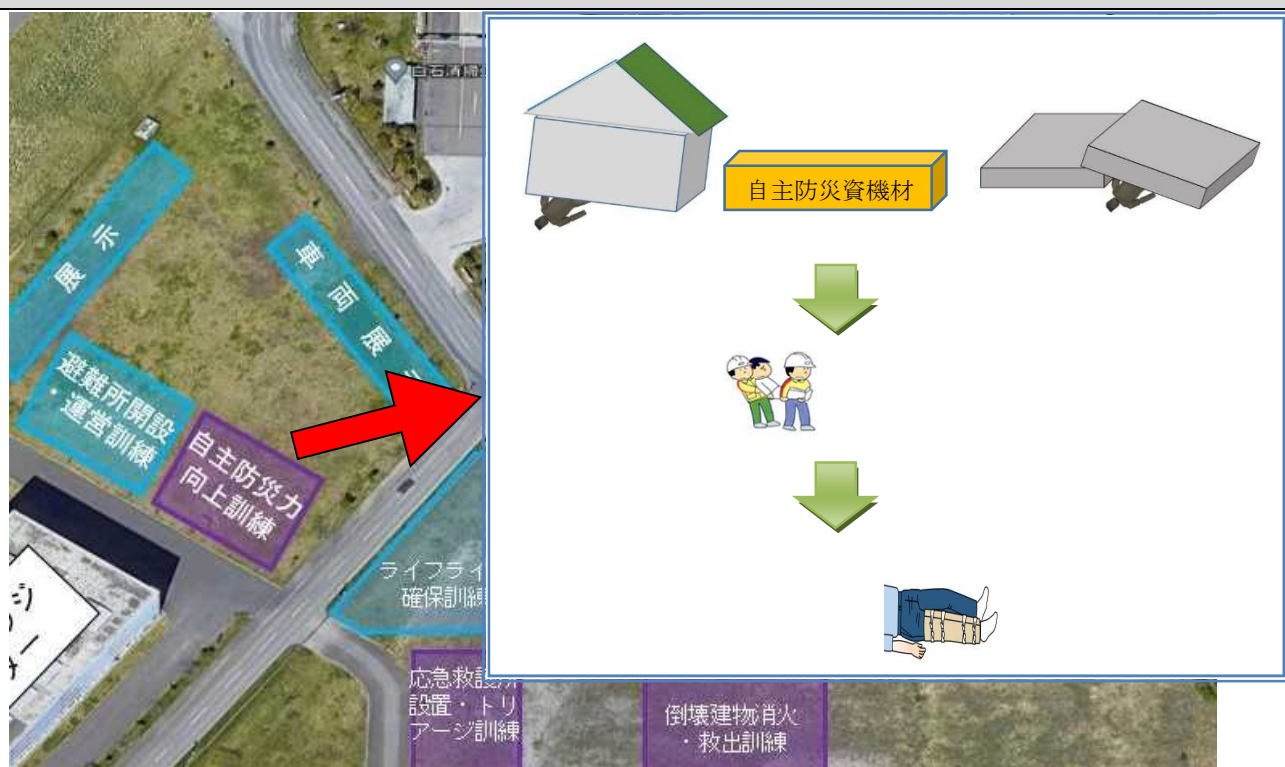
担架組立・搬送訓練開始

09:50 町内会市民等が自主防災資機材セットから折り畳み担架や毛布等を取り出す。
 09:55 白石消防団員の指導の下、折り畳み担架や毛布による応急担架を作成する。また、衣類や椅子を活用した方法及び徒手での方法でレサシアンを乗せて搬送する。
 10:00 担架組立・搬送訓練終了

応急手当訓練開始

10:00 町内会市民等が三角巾を使用し、白石消防団員の指導の下、負傷部位に応じた固定を行う。
 10:05 負傷者と応急手当実施者が交替し、同様の固定を行う。
 10:10 応急手当訓練終了
 ※白石消防団員は応急救護所設置訓練に参加するまでの間、その場で待機する。
 町内会住民等は次の訓練参加場所へ移動する。

会場図



備考

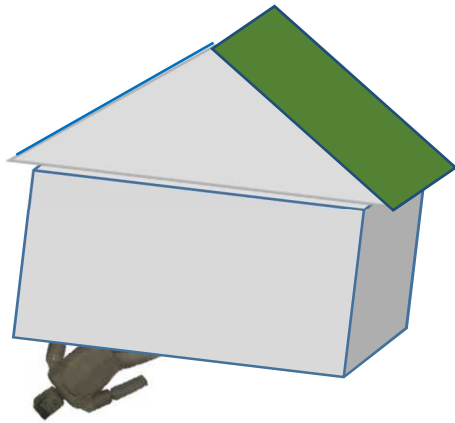
自主防災力向上訓練 製作資材仕様書

使用目的:家屋やブロック塀の下敷きになった要救助者(人形)を救出のため、ダルマジッキや金てこを利用して持ち上げ、できた空間に角材等を挟み込んで救助を行う訓練に使用する。

倒壊家屋 仕様

- ・幅1,800mm×高さ1,650mm×奥行900mm
- ・骨組みは木造またはビデ及び単管造り、木製パネル貼り

※ビデ及び単管造りとする場合は建物下部を角材で回すか床材をコンパネ張りとする。
※割れた窓ガラス、ひび割れた壁の絵を入れる。

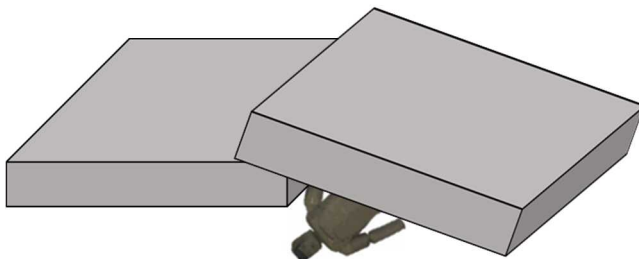


同じ仕様の棟を2棟製作

倒壊ブロック塀 仕様

- ・縦 1,800mm×横1,800mm×厚さ 170mm 2枚製作
- ・縦 1,800mm×横 900mm×厚さ 170mm 2枚製作

※タル木による骨組みにコンパネ貼りとする。
内部に20kg程度の砂を入れ重さを持たせる
ブロック塀の絵を入れる。



4 被害状況把握・情報収集伝達訓練（調整担当：白石消防署）

実施時間 (9 : 50～10 : 10)

9:30 9:35 9:40 9:45 9:50 9:55 10:00 10:05 10:10 10:15 10:20 10:25 10:30 10:35 10:40 10:45 10:50 10:55 11:00 11:05 11:10 11:15 11:20 11:25 11:30

[illegible]

訓練会場

東部水再生プラザ【倒壊建物消火・救出訓練会場】

訓練想定

石狩中部を震源とした札幌直下型地震が発生、白石区では震度 7 を観測し建物の倒壊や火災が随所で発生した。上空から被害状況の全体を把握するとともに、地上から被害の詳細を把握する。

訓練概要

- ①上空からの被害状況把握（海上保安庁固定翼機、消防航空隊回転翼機）
②地上からの被害状況把握（陸上自衛隊、北海道警察のバイク隊）
被災した各ブースの状況を災害対策本部へ報告する。

参加団体及び人員（4団体 計13名）

- ①第一管区海上保安部（5名）
②消防航空隊（4名）
③陸上自衛隊第11旅団 第18普通科連隊（2名）
④北海道警察本部（2名）

参加車両等 (計6台)

札幌市消防局消防航空隊（１機：消防ヘリコプター）、海上保安庁固定翼機（１機）
北海道警察（バイク２台）、自衛隊（バイク２台）

必要資機材

トランシーバー 4台(参加4団体へ各1台 白石消防署にて用意)

訓練行動

09:50 海上保安庁の固定翼機が、上空から広範囲の被害状況の確認を行い、区災害対策本部（海上保安庁の地上通信員）へ無線で状況報告を行う。使用無線は「海上保安庁が運用している無線」を使用する。地上通信員は災害対策本部に状況を報告する。（地上通信員の無線機に入った情報を会場に流す）

09:54 陸上自衛隊及び北海道警察本部の各バイク部隊が車両待機場所から移動開始(警察⇒自衛隊の順)

各バイク部隊が会場に到着、各ブースの被害状況を所定の要領で確認し、被害状況を災害対策本部に報告する。

- 交通規制・緊急輸送路確保訓練ブース 警察バイク隊
- 倒壊建物救出訓練ブース 自衛隊バイク隊

※車両動線については会場図に記載

- 09:59 各バイク部隊現地合同調整所へ集合し、各ブースの被害状況を口頭で報告後、車両待機場所へ戻る。
- 10:01 消防航空隊のヘリが上空から被害の大きい白石区の被害状況の確認を行い、札幌消防へ無線で状況報告を行うとともに、ヘリTV映像伝送装置にて、映像送信する。
(大型ビジョンへ映像を映す。)
※消防波 10ch を使用する。
- 10:07 孤立地域に取り残された住民を発見し、現地合同調整所へ報告
- 10:08 訓練終了⇒孤立住民救出訓練へ移行

会場図



- ・海上保安庁の固定翼機は会場の西側から南東方面に向かい、上空から広範囲の被害状況を確認する。(紫線)
- ・消防航空隊のヘリは会場の南東側から北西方面に向かい、被害状況を確認する。(赤線)
会場上空を巡回待機しながら、ヘリTV映像伝送装置にて、映像送信する。
- ・警察バイク隊は黄色線のとおり、会場に進入し道路の被害状況及び障害物を確認する。
進入した道で退場する。
- ・自衛隊バイク隊は青線のとおり、会場に進入し倒壊建物を確認する。進入した道で退場する。

備考

＜海上保安庁からの被害状況報告内容（案）＞

海上保安庁からの被害状況報告は、防災相互通信用無線（アナログVHF 158.35MHz）を使用して、事前に作成した「読み原稿」に基づき、海上保安庁の航空機と本部指揮車との間で無線交信を実施し、交信内容を会場内に放送する。

- 1 会場上空飛行時刻
9時50分頃（予定）

- 2 会場上空飛行時のアナウンス

「ご来場の皆様、会場の西側上空をご覧ください。第一管区海上保安本部千歳航空基地所属の固定翼機「〇〇〇〇〇」が上空からの被害調査の飛行しております。緊急輸送路となる高速道路や市境の状況など、広範囲の被害調査を行っております。

- 3 会場上空飛行時の無線交信

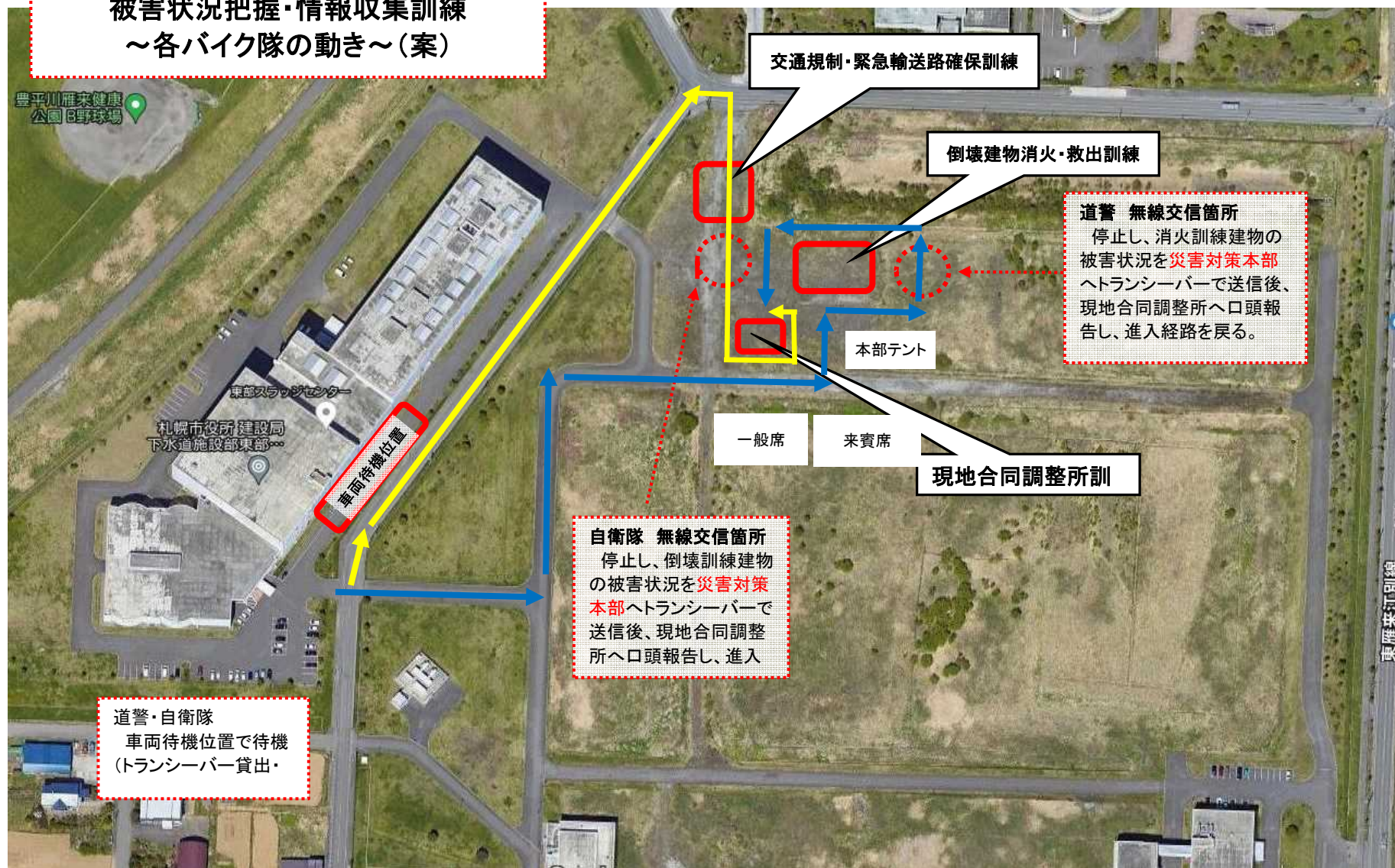
海保】「ほあん〇〇〇から白石区災害対策本部（〇〇）、こちらの感度いかが、どうぞ。」

本部】「白石区災害対策本部からほあん〇〇〇、そちらの感度良好、どうぞ。」

海保】「訓練、本機、現在、札幌市中心部を通過し札幌市白石区上空を調査中、現在までに菊水元町地区の幹線道路及び札幌自動車道札幌 IC 付近の一部が寸断しているのを確認した。どうぞ。」

消防】「白石区災害対策本部、了解。以上」

被害状況把握・情報収集訓練
～各バイク隊の動き～(案)



＜各バイク隊からの被害状況報告内容（案）＞

事前に貸し出すトランシーバーを使用し「被害状況把握・情報収集訓練～各バイク隊の動き～（案）」の無線交信箇所から、被害状況を報告する。

トランシーバーは、訓練当日に車両待機場所で係員が配布します。

※ 無線交信のタイミングは、現在シナリオ構成中のため未定です。
後日担当者あて連絡いたします。

1 北海道警察広域援助隊先行情報班

※9時15分までに車両待機位置で待機し、消防職員の出発の指示を待つ。

出発の指示で発進し、動線の通り進行し、倒壊訓練建物前で災害対策本部へ無線交信する。

その後、現地合同調整所にて口頭で状況を報告する。

＜倒壊訓練建物現場における被害状況の報告＞

警察】「先行情報班から、白石区災害対策本部」

本部】「白石区災害対策本部です。どうぞ」

警察】「東部水再生プラザ周辺に到着、付近で道路の一部が寸断、さらに電気、水道等のライフラインの被害も確認した。関係機関の要請願う。継続して付近の被害状況を調査する。どうぞ」

本部】「了解」

警察】「以上、先行情報班」

無線交信後、現地合同調整所へ向かい、上記内容を口頭で報告する。

※無線交信後、進入動線と同じ経路で退場し、車両待機位置に向かう。

※車両待機場所に戻りましたら、係員に無線機を返納願います。

2 陸上自衛隊情報小隊

※9時15分までに車両待機位置で待機し、消防職員の出発の指示を待つ。

出発の指示で発進し、動線の通り進行し、倒壊訓練建物前で災害対策本部へ無線交信する。

その後、現地合同調整所にて口頭で状況を報告する。

＜倒壊訓練建物現場における被害状況の報告＞

自衛隊】「陸上自衛隊情報小隊から、白石区災害対策本部」

本部】「白石区災害対策本部です。どうぞ」

自衛隊】「現在、東部水再生プラザ周辺に到着、こちらでは、複数の建物が倒壊し、多数のものが取り残されている模様。救助部隊を要請願う。継続して付近の被害状況を調査する。どうぞ」

本部】 「了解」
自衛隊】「以上、陸上自衛隊情報小隊」

無線交信後、現地合同調整所へ向かい、上記内容を口頭で報告する。

※無線交信後、進入動線と同じ経路で退場し、車両待機位置に向かう。
※車両待機場所に戻りましたら、係員に無線機を返納願います。

2022/7/20

被害状況把握・情報収集訓練
～札幌ヘリ被害状況報告～(案)



5 ドローンによる情報収集訓練（調整担当：白石消防署）																								
実施時間（9：55～11：25）																								
9:30	9:35	9:40	9:45	9:50	9:55	10:00	10:05	10:10	10:15	10:20	10:25	10:30	10:35	10:40	10:45	10:50	10:55	11:00	11:05	11:10	11:15	11:20	11:25	11:30
訓練会場																								
東部水再生プラザ																								
訓練想定																								
石狩中部を震源とした札幌直下型地震が発生、白石区では震度7を観測し建物の倒壊や火災が随所で発生した。																								
訓練概要																								
被災地上空にドローンを配備し、情報収集を実施する。また、参加企業のドローンにより避難所への支援物資輸送を行う。 ドローンにて撮影した映像を大型映像車にて放映する。																								
参加団体及び人員（2団体 計6名）																								
(1) ドローン運用 南消防署川沿出張所 4名 株式会社ドリームベース 4名																								
(2) 進行及び安全管理 白石消防署職員 2名																								
参加車両等（計2台）																								
川沿水槽車 1台 ドリームベース 1台																								
必要資機材																								
(1) ドローン2機(札幌消防運用機、ドリームベース運用機) (2) 大型映像車への映像伝送機材一式(設営業者にて手配) (3) トランシーバー3台（各参加団体へ配付、調整用）																								
訓練行動																								
【南消防署川沿出張所の訓練行動】																								
09:55 車両待機場所から出動																								
10:08 ヘリが上空から見えなくなってから、1回目飛行開始。 自主防災力向上訓練エリア及び倒壊建物エリアの航行、災害状況を撮影する。																								
10:18 1回目飛行終了。収集した情報を指揮本部へ報告する。																								
10:35 2回目飛行開始。応急救護所エリアの消防隊等の活動状況を撮影する。 2回目飛行終了																								

実施時間 (9 : 55～11 : 25)

9:30 9:35 9:40 9:45 9:50 9:55 10:00 10:05 10:10 10:15 10:20 10:25 10:30 10:35 10:40 10:45 10:50 10:55 11:00 11:05 11:10 11:15 11:20 11:25 11:30

訓練会場

東部水再生プラザ

訓練想定

石狩中部を震源とした札幌直下型地震が発生、白石区では震度 7 を観測し建物の倒壊や火災が随所で発生した。

訓練概要

被災地上空にドローンを配備し、情報収集を実施する。また、参加企業のドローンにより避難所への支援物資輸送を行う。

ドローンにて撮影した映像を大型映像車にて放映する。

参加団体及び人員（2団体 計6名）

- | | | | | |
|--------------|-----------|----|-------------|----|
| (1) ドローン運用 | 南消防署川沿出張所 | 4名 | 株式会社ドリームベース | 4名 |
| (2) 進行及び安全管理 | 白石消防署職員 | 2名 | | |

参加車両等 (計2台)

川沿水槽車	1 台
ドリームベース	1 台

必要資機材

- (1) ドローン2機(札幌消防運用機、ドリームベース運用機)
- (2) 大型映像車への映像伝送機材一式(設営業者にて手配)
- (3) トランシーバー3台(各参加団体へ配付、調整用)

訓練行動

【南消防署川沿出張所の訓練行動】

09:55 車両待機場所から出動

10:08 ヘリが上空から見えなくなってから、1回目飛行開始。

自主防災力向上訓練エリア及び倒壊建物エリアの航行、災害状況を撮影する。

10:18 1 回目飛行終了。収集した情報を指揮本部へ報告する。

10:35 2回目飛行開始。応急救護所エリアの消防隊等の活動状況を撮影する。

2回目飛行終了

【ドリームベースの訓練行動】

- 09:30 大型映像車の裏で待機
- 10:08 川沿ドローンが飛行している状況を撮影する。
ドローンの説明アナウンスが終了後、記録用として、多方面から会場等を撮影する。
- 10:30 倒壊建物救出訓練へ出動する車両を上空から撮影する。
- 10:45 展示開始（ドローン飛行開始）。避難所エリアを孤立地域と見立て、支援物資（AED）輸送準備
- 10:55 支援物資輸送開始（輸送の様子を別ドローンで撮影し、大型ビジョンにて放映）
- 11:05 一般・来賓席への物資（飲料水）輸送
- 11:20 ドローン飛行終了
- 11:25 全行程終了

会場図



- 1 支援物資輸送時（避難所もしくは一般・来賓席）、ワタリ 119 にも物資を輸送
- 2 大型ビジョン放映に空きがあれば、それぞれのブースの訓練の様子を放映したい。

備考

6 現地合同調整所訓練（調整担当：白石消防署）																									
実施時間（9：55～11:25）																									
9:30	9:35	9:40	9:45	9:50	9:55	10:00	10:05	10:10	10:15	10:20	10:25	10:30	10:35	10:40	10:45	10:50	10:55	11:00	11:05	11:10	11:15	11:20	11:25	11:30	
訓練会場																									
東部水再生プラザ																									
訓練想定																									
石狩中部を震源とした札幌直下型地震が発生、白石区では震度7を観測し建物の倒壊や火災が随所で発生した。																									
訓練概要																									
白石消防署、江別市消防本部、陸上自衛隊、北海道警察による連携した活動を行うために、現場付近に現地合同調整所を設置し情報の共有を図り、活動の分担や協力について調整する。																									
参加団体及び人員（4団体 計14名）																									
(1) 訓練実施部隊 ア 白石指揮隊 5名 イ 江別市消防本部指揮隊 5名 エ 陸上自衛隊第11旅団第18普通科連隊救助部隊 2名 オ 北海道警察 2名 (2) 業務要員 全体統括 白石消防署職員 1名																									
参加車両等（計3台）																									
(1) 白石消防署 指揮車 1台 (2) 江別市消防本部 指揮車 1台 (2) 自衛隊救助部隊 ジープ 1台 (3) 北海道警察 災害用バン型車両 1台																									
必要資機材																									
(1) 旗「現地合同調整所」 1枚 (2) 旗用ポール・杭 1セット（配分予算にて購入） (3) 訓練用図面 1枚（札幌市で用意） (4) 指揮テーブル（白石指揮車 積載資機材）																									
訓練行動																									
09:55 白石指揮隊、自衛隊、警察の順番で車両待機場所から移動開始 09:56 現場到着 09:57 【白石指揮隊】所定の位置に到着後、現地合同調整所の設置作業を実施(旗・杭・図面・テーブルの展開)※杭は事前に刺しておく。 09:58 設置後、札幌消防に報告する。(同時に白石指揮隊が運用する指揮本部も設置する。) 【各隊】後続車両が所定の位置に到着、各隊は現地合同調整所に集結する。 【調整所】「4 被害状況把握・情報収集伝達訓練」にて収集した情報について、札																									

実施時間 (9:55~11:25)

9:30 9:35 9:40 9:45 9:50 9:55 10:00 10:05 10:10 10:15 10:20 10:25 10:30 10:35 10:40 10:45 10:50 10:55 11:00 11:05 11:10 11:15 11:20 11:25 11:30

訓練会場

東部水再生プラザ

訓練想定

石狩中部を震源とした札幌直下型地震が発生、白石区では震度 7 を観測し建物の倒壊や火災が随所で発生した。

訓練概要

白石消防署、江別市消防本部、陸上自衛隊、北海道警察による連携した活動を行うために、現場付近に現地合同調整所を設置し情報の共有を図り、活動の分担や協力について調整する。

参加団体及び人員（4団体 計14名）

- (1) 訓練実施部隊
ア 白石指揮隊 5 名
イ 江別市消防本部指揮隊 5 名
エ 陸上自衛隊第 11 旅団第 18 普通科連隊救助部隊 2 名
オ 北海道警察 2 名
- (2) 業務要員
全体統括 白石消防署職員 1 名

参加車両等 (計 3 台)

- | | | | |
|-----|---------|----------|----|
| (1) | 白石消防署 | 指揮車 | 1台 |
| (2) | 江別市消防本部 | 指揮車 | 1台 |
| (2) | 自衛隊救助部隊 | ジープ | 1台 |
| (3) | 北海道警察 | 災害用バン型車両 | 1台 |

必要資機材

- (1) 旗「現地合同調整所」 1 枚
- (2) 旗用ポール・杭 1 セット（配分予算にて購入）
- (3) 訓練用図面 1 枚（札幌市で用意）
- (4) 指揮テーブル（白石指揮車 積載資機材）

訓練行動

09:55 白石指揮隊、自衛隊、警察の順番で車両待機場所から移動開始

09:56 現場到着

09:57 【白石指揮隊】所定の位置に到着後、現地合同調整所の設置作業を実施(旗・杭・図面・テーブルの展開)※杭は事前に刺しておく。

09:58 設置後、札幌消防に報告する。(同時に白石指揮隊が運用する指揮本部も設置する。)
【各隊】 後続車両が所定の位置に到着、各隊は現地合同調整所に集結する。
【調整所】 「4 被害状況把握・情報収集伝達訓練」にて収集した情報について、札

幌消防、自衛隊及び警察バイク隊から伝達を受ける。

09:59 江別市指揮隊、車両待機場所から移動開始

10:00 【調整所】江別市指揮隊に状況を説明する。

10:02 【調整所】活動方針、活動エリアを協議する。

10:07 【指揮本部】消防航空隊から孤立地域において取り残された住民発見の報告を受ける。⇒調整所へ報告

10:08 【指揮本部】消防航空隊に活動命令「孤立住民の救出活動」

10:09 【調整所】災害捜索救助犬による検索活動要請（到着まで約20分）

10:16 【指揮本部】消防航空隊から孤立住民救出完了の報告を受ける。⇒調整所

10:18 【指揮本部】川沿水槽隊からドローンによる情報収集内容の報告を受ける。
⇒調整所

10:20 【指揮本部】東白石担当係長から一時避難場所開設の報告を受ける。

10:35 【調整所】災害捜索救助犬によるサーチング活動を実施した後、各隊の活動エリアを決定する。

【調整所】各隊の訓練進捗状況を確認、適宜、必要な報告を受ける。

訓練終了

会場図



備考

7 交通規制・緊急輸送路確保訓練（調整担当：白石区役所）

実施時間（10：05～10：35）

9:30	9:40	9:50	10:00	10:10	10:20	10:30	10:40	10:50	11:00	11:10	11:20	11:30	11:40	11:50	12:00

訓練会場

東部水再生プラザ北側敷地（メイン会場）

訓練想定

地震により発生したガレキが道路を塞いでおり、通行に支障をきたしている。

訓練概要

- (1) 交通規制を行う。
- (2) 道路上のガレキの除去を行う。

参加団体及び人員

- (1) 白石区役所(土木部：3名)
- (2) 白石区災害防止協力会（4名）
- (3) 北海道警察 白石警察署（2名）

参加車両等

- (1) 白石区役所(1台：土木センターパトロールカー)
- (2) 白石区災害防止協力会（2台：重機1台、ガレキ積み込み用トラック1台）
- (3) 北海道警察 白石警察署（1台：パトカー）

必要資機材

ガレキ（会場設営者で準備 ※5m幅の道を塞ぐ程度のもの）

訓練行動

- | | |
|-------|--|
| 10:05 | 道路がガレキで塞がれているとの通報（区災害対策本部）、警察への連絡・土木部に調査指示（区災害対策本部）
白石警察署が現場到着・交通規制、白石区土木部が到着・調査の後白石区災害防止協力会へ撤去応援依頼 |
| 10:15 | 白石区災害防止協力会 ガレキ撤去開始
撤去完了次第、交通規制解除 |
| 10:35 | 終了 |

会場図



備考

8 孤立住民救出訓練（調整担当：白石消防署）

実施時間（10：10～10：20）

9:30 9:35 9:40 9:45 9:50 9:55 10:00 10:05 10:10 10:15 10:20 10:25 10:30 10:35 10:40 10:45 10:50 10:55 11:00 11:05 11:10 11:15 11:20 11:25 11:30

訓練会場

豊平川雁来河川健康公園自由広場

訓練想定

道路が寸断され、孤立した地域に住民が取り残された。

訓練概要

孤立した地域に取り残された住民を消防ヘリコプターにより救出する訓練

参加団体及び人員（計6名）

札幌市消防局消防航空隊（6名）※消防航空隊により住民役を選出
白石消防署職員（安全管理員4名）

参加車両等（計1機）

札幌市消防局消防航空隊（1機：ヘリコプター）

必要資機材

なし

訓練行動

- 9:00 航空係に連絡しフライトの可否について確認
- 10:07 訓練会場内の参加者に対して訓練概要の説明を行う。
- 10:10 消防ヘリコプターが救出訓練場所上空へ到達
- 10:15 取り残された住民を機内収容する。
- 10:16 指揮本部に報告する。
- 10:18 救出訓練場所から離脱する。（そのまま引き揚げ。）

会場図



備考

- ※ 訓練開始5分前に河川敷の道路を通行止めにする。
- ※ 安全管理員については、河川敷の道路及び護岸にそれぞれ2名ずつ配置する。
- ※ 野球場のネットとポールは事前に抜き、飛散防止を行う。



【救出イメージ①】



【救出イメージ②】



【救出イメージ③】

被害状況把握訓練・孤立住民救出訓練会場



孤立住民救出訓練会場拡大



B 野球場フェンス

フェンス

60m



9 応急救護所設置・トリアージ訓練（調整担当：白石消防署）

実施時間（10：15～11：20）

9:30 9:35 9:40 9:45 9:50 9:55 10:00 10:05 10:10 10:15 10:20 10:25 10:30 10:35 10:40 10:45 10:50 10:55 11:00 11:05 11:10 11:15 11:20 11:25 11:30

訓練会場

東部水再生プラザ

訓練想定

石狩中部を震源とした札幌直下型地震が発生、白石区では震度7を観測し建物の倒壊や火災が随所で発生した。

訓練概要

- (1) 応急救護所の設営
- (2) トリアージポスト設置及び応急処置
「1 1 倒壊建物消火・救出訓練」において救出した負傷者等をトリアージし、応急救護活動を実施する。
- (3) 負傷者の搬送

参加団体及び人員（計10隊（団体）、36名）

1 訓練実施部隊

- (1) 菊水救急隊（3名【二部】）
一時避難場所・トリアージポスト設置、トリアージポストにおいてトリアージ実施。
- (2) 北郷救急隊（3名【二部】）
一時避難場所・トリアージポスト設置、応急救護所（カテゴリーⅠ・Ⅲ）での応急処置を実施。ボイストラ使用予定
- (3) 白石救急隊（2名【二部】）
応急救護所テント設営補助後、応急救護所（カテゴリーⅠ・Ⅱ・Ⅲ）での応急処置を実施。
- (4) 南郷救急隊（2名【日勤】）
応急救護所テント設営補助後、応急救護所（カテゴリーⅠ・Ⅱ・Ⅲ）での応急処置補助を実施。厚別非常用救急車を運用し重症患者を搬送。
- (5) 東白石化学・水槽隊（4名【一部】）
救急指揮所運営
- (6) 元町水槽隊（4名【一部】）
応急救護所テント設営。トリアージポスト・各テントの支援
- (7) 菊水水槽隊（4名【一部】）
応急救護所テント設営。救急救命士2名が応急救護所（カテゴリーⅡ・Ⅲ）での応急処置を実施。ボイストラ使用予定。他の2名で菊水非常用救急車を運用し重症患者を搬送。
- (8) 総合指揮本部隊（2名【二部】）
軽症者管理及びみなし病院へ搬送
- (9) 消防団（8名）

一時救護所から応急救護所までの担架搬送 4 名、応急救護所（カテゴリーⅢ）での応急処置支援 4 名

(10) 自衛隊（4 名）

一時救護所から応急救護所までの担架搬送、高機動車により重症患者を搬送。

2 業務要員

(1) 生体要救助者

白石消防署職員 10 名 ～軽症 5 名・中等症 5 名（倒壊建物救出訓練）

白石区役所職員 3 名 ～軽症 3 名

国際プラザ 5 名 ～軽症 5 名（自主防災力向上訓練と同一）

(2) 業務要員

ア 救急担当係長【救急二担当】

全体統括

イ 菊水出張所長

統括補助

ウ 菊水水槽隊 3 名【二部】内山・東岱・熊谷・白石救急隊 1 名【救急二担当】

小谷 安全管理及び資器材管理

参加車両等（計 3 台）※ 菊水 2 は車両展示で使用するとのことです！

(1) 菊水非常用救急車 × 1 台

出動時菊水救急隊で運用、重症患者搬送時は菊水水槽隊（救急隊役）で運用

(2) 厚別非常用救急車 × 1 台

南郷救急隊で運用

(3) 元町水槽車 × 1 台

(4) 東白石非常用水槽車 × 1 台

東白石化学・水槽隊で運用

(5) 総合指揮本部車 × 1 台

軽症者搬送のため

(6) 自衛隊車両 × 1 台

重症者搬送のため

必要資機材

1 応急救護所の設営

(1) エアーテント × 2 張（白石消防署・厚別消防署）

(2) エアーテント用資機材 × 2 セット（白石消防署・厚別消防署）

(3) 携帯用発電機 × 2 台（エアテント展張用）

もしくは空気ボンベ × 8 本

(4) 防水シート（軽症用 3.6m×5.4m）× 2 枚（白石消防署）

(5) トリアージタグ × 50 枚（配分予算にて購入）

(6) 折りたたみ担架 × 6 台（白石消防署にて用意）

(7) バックボード × 4 枚（消防学校から 2 非常用救急車 2）

(8) スクープストレッチャー × 2 枚（非常用救急車 2）

(9) 応急処置用資機材

使用資機材一覧（別紙～調整中）による。

(10) セーフティーコーン 8 個（白石消防署）

- (11) セーフティコーン用重し 8 個 (シート飛散防止用)
- (12) ブルーシート大 1 枚 (担架隊参集場所用)
- (13) トリアージポスト旗 1 枚 (白石署)
- (14) 救急指揮所旗 1 枚 (白石署)
- (15) 旗用三脚 2 台 (白石署)

2 負傷者対応

- (1) 負傷者設定カード ×24 枚 (白石消防署にて作成)
- (2) 負傷者現示用資機材
使用資機材一覧 (別紙～調整中) による (消防学校から借用)
- (3) 負傷者用ベスト ×10 着 (ダミー 5 中等症生体 5)

3 負傷者用

- (1) コーケン ×1 体 (白石消防署)
- (2) コーケン (腕のみ) ×3 本 (消防学校から借用)

訓練行動

- 10 : 15 車両待機場所から出動
- 10 : 16 現場到着 応急救護所・一時避難場所設営開始
- 10 : 20 一時避難場所開設 歩行可能の負傷者が消防隊の誘導により一時避難場所に移動。トリアージポストにてトリアージ開始
- 10 : 25 応急救護所テント設営完了。トリアージ後の傷病者を各テントへ搬送、応急処置を行う。
- 10 : 30 歩行可能負傷者が消防隊の誘導により一時避難場所に移動。
- 10 : 35 トリアージ後の傷病者を各テントへ搬送、応急処置を行う。
- 10 : 40 「11 倒壊建物消火・救出訓練」にて救出された要救助者 (ダミー人形) を随時トリアージポストに搬送
- 10 : 45 軽症者 13 名処置完了後、総合指揮本部車に収容開始 (撮影ポイント)
- 10 : 55 厚別非常用救急車に重傷者 1 名収容し搬送開始 他重傷者全員テントへ移動完了
- 11 : 00 菊水非常用救急車に重傷者 1 名収容し搬送開始
- 11 : 05 中等症者全員テントへ移動完了。一時避難場所閉鎖
- 11 : 10 自衛隊車両に重傷者 1 名収容し搬送開始
- 11 : 15 厚別非常用救急車に重傷者 1 名収容し搬送開始
- 11 : 20 訓練終了

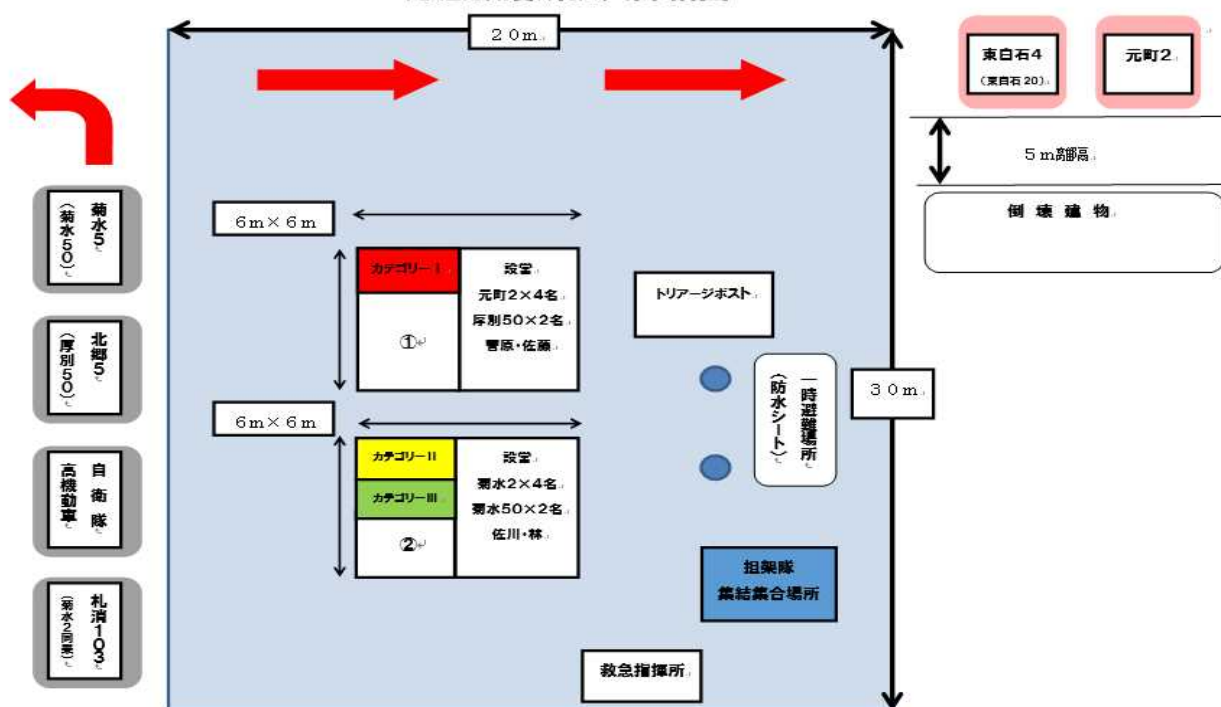
会場図



備考



応急救護所拡大詳細図



配置ごとの人員割振り

- (1) トリアージポスト 計9名
 - ア トリアージ担当

菊水救急隊3名（救急救命士2名含む）、元町水槽隊2名
 - イ 救急指揮者

東白石出張所担当係長
 - ウ 救急指揮要員

東白石化学・水槽隊員3名
- (2) カテゴリーⅠ：重症（最優先治療群）計5名

北郷救急隊3名（救急救命士2名含む）元町水槽隊2名
- (3) カテゴリーⅡ：中等症（待機的治療群）及びカテゴリーⅢ：軽症（保留群）計4名

白石救急隊2名（救急救命士1名含む）、菊水水槽隊2名（救急救命士2名）

救急搬送導線



消防隊出動経路

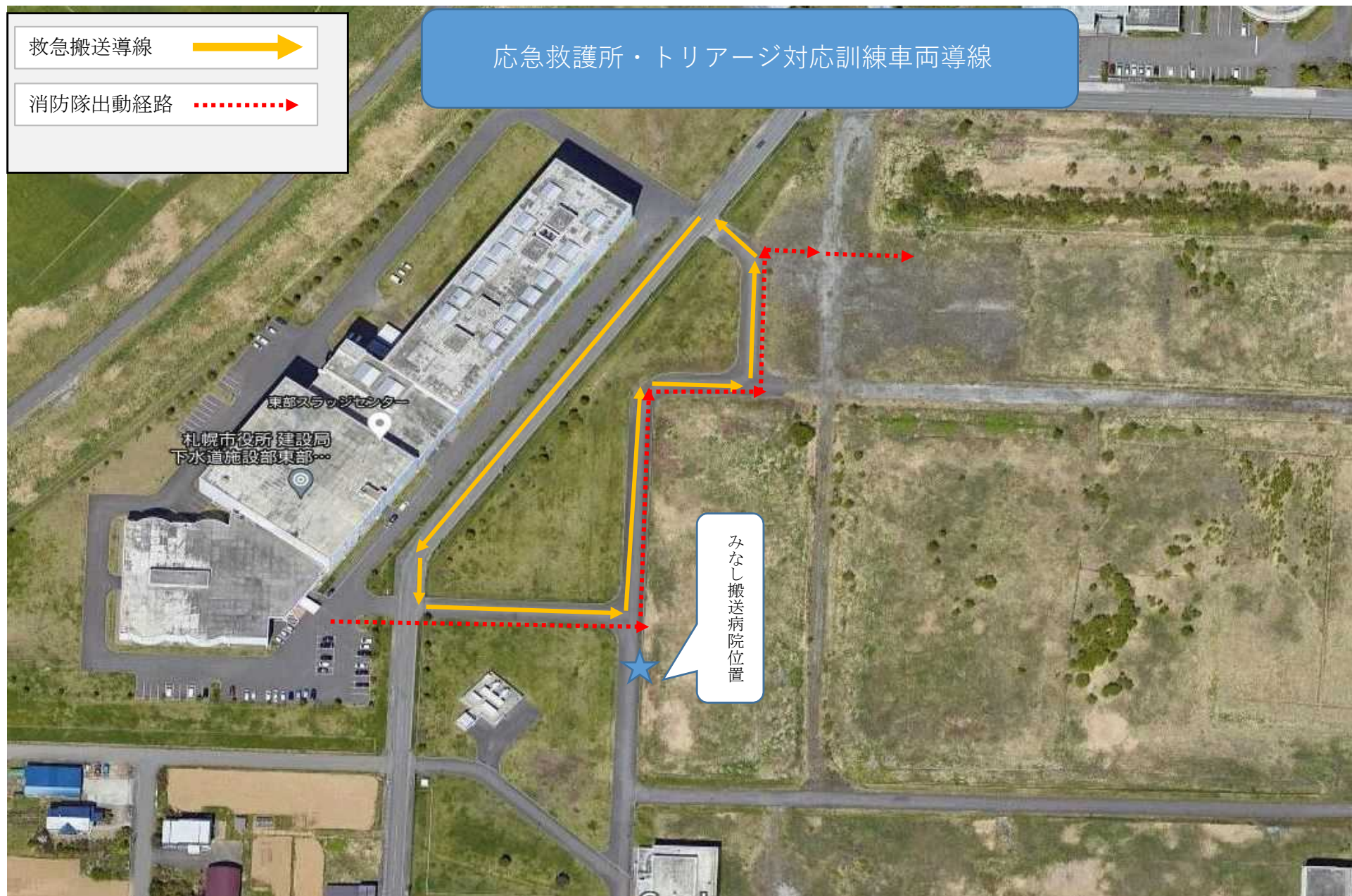


応急救護所・トリアージ対応訓練車両導線

東部スラッジセンター

札幌市役所 建設局
下水道施設部東部

みなし搬送病院位置



10 事前録画型訓練（調整担当：白石区役所）

実施時間（10：25～11：05）

9:30	9:40	9:50	10:00	10:10	10:20	10:30	10:40	10:50	11:00	11:10	11:20	11:30	11:40	11:50	12:00

訓練会場

東部水再生プラザ北側敷地（メイン会場）

訓練想定

（小学校の授業として実施する）

訓練概要

- （1） 区内の複数の小学校において、小学生児童を対象とした防災教育を実施し、その様子を撮影する。各校の実施内容は別紙のとおり。
- （2） 上記映像を使用した紹介映像を複数回に分けて、大型ビジョンを使用して放映し、参加者に紹介する。

参加団体及び人員

南白石小学校 4 年生、東白石小学校 4 年生、東橋小学校 1 年生・2 年生

参加車両等

なし

必要資機材

大型ビジョン放映用映像

- （1） 防災教育実施風景（白石区役所にて映像用意。会場設営業者にて編集。）

訓練行動

- | | |
|-------|-------------|
| 10:25 | 防災教育紹介映像① |
| 10:30 | 防災教育紹介映像①終了 |
| 11:00 | 防災教育紹介映像② |
| 11:05 | 防災教育紹介映像②終了 |

会場図



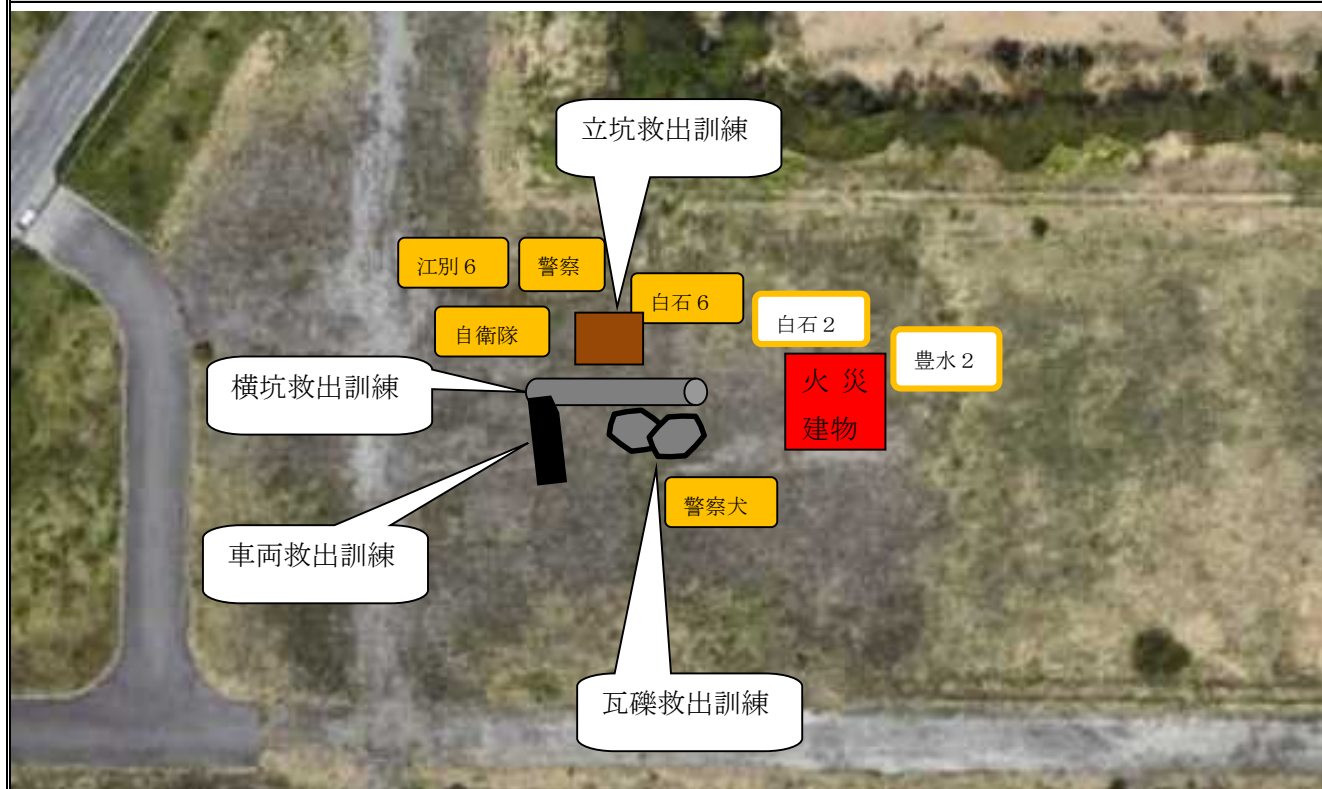
備考

- 授業の撮影については、映像制作事業者に業務委託を行い、動画素材を納品させたうえ、別途他の訓練の映像素材と合わせて編集し、訓練当日に大型ビジョンで放送する。

11 倒壊建物消火・救出訓練（調整担当：白石消防署）																								
実施時間（10：30～11：10）																								
9:30	9:35	9:40	9:45	9:50	9:55	10:00	10:05	10:10	10:15	10:20	10:25	10:30	10:35	10:40	10:45	10:50	10:55	11:00	11:05	11:10	11:15	11:20	11:25	11:30
訓練会場																								
東部水再生プラザ																								
訓練想定																								
石狩中部を震源とした札幌直下型地震が発生、白石区では震度 7 を観測し建物の倒壊や火災が随所で発生した。																								
訓練概要																								
災害関係機関が火災建物・倒壊建物においてそれぞれの災害収束を目指し連携した活動を行う訓練																								
参加団体及び人員（ 団体計 4 7 名）																								
白石消防署・白石特別救助隊 5 名、水槽隊 4 名、運営職員 1 0 名 厚別消防署・厚別特別救助隊 5 名 中央消防署・豊水機動水槽隊 4 名 江別消防署・江別救助隊 5 名 北海道警察・災害救助犬 2 名、特務中隊 5 名 陸上自衛隊・第 18 普通科連隊 6 名																								
参加車両等（計 7 台）																								
白石消防署・白石救助車、水槽車 中央消防署・豊水機動水槽車 江別消防署・江別救助車 北海道警察・警察車両、警察犬車両 陸上自衛隊・自衛隊車両																								
必要資機材																								
火災建物救出訓練 ・平屋建て家屋 ・消防車への補給用ホース 4 本、二又分岐管 （白石消防署） ・スモークマシン 2 機、補給用液 （白石消防署） ・赤色のパトランプ 1 個 （白石消防署） 倒壊建物救出訓練 ・立坑救出用木管、鉄板、救出作業用足場、 ・横坑救出用木管、コンクリート製平板 ・車両救出用車両 （協栄車輛） ・瓦礫 大×4 小 2 m³ ・ダミー 5 体 （白石消防署、白石区役所）																								

訓練行動								
時間	概要	白石救助	厚別救助	江別救助	警察	自衛隊	豊水水槽	白石水槽
10 : 30	搜索開始	現着 状況確認			現着 搜索開始			
		各隊到着、隊長はブリーフィング、隊員は資器材の搬送						
10 : 35	瓦礫着手					がれき除去 要救助者 二人救出		
	横坑着手 立坑着手	横坑着手	立坑着手		横坑着手			
10 : 40	車両着手			車両着手		要救助者を一時避難場所へ搬送、そのまま搬送隊になる。		
				一人目 二人目 三人目 救出				
	白石着手	削岩機 プロアイ						
10 : 45								
10 : 50			救出完了					
	立坑完了 横坑完了			要救助者を搬送隊へ引継後撤収	横坑救出完了			
	火災開始		撤収完了後搬送隊になる	撤収完了後搬送隊になる	撤収完了後搬送隊になる		火災発生 水槽隊現着、活動開始 一人目救出 二人目救出 消火完了	
10 : 55								
11 : 00								
	火災完了							
11 : 05	横坑完結	救出完了						
	撤収							
11 : 10	訓練終了							

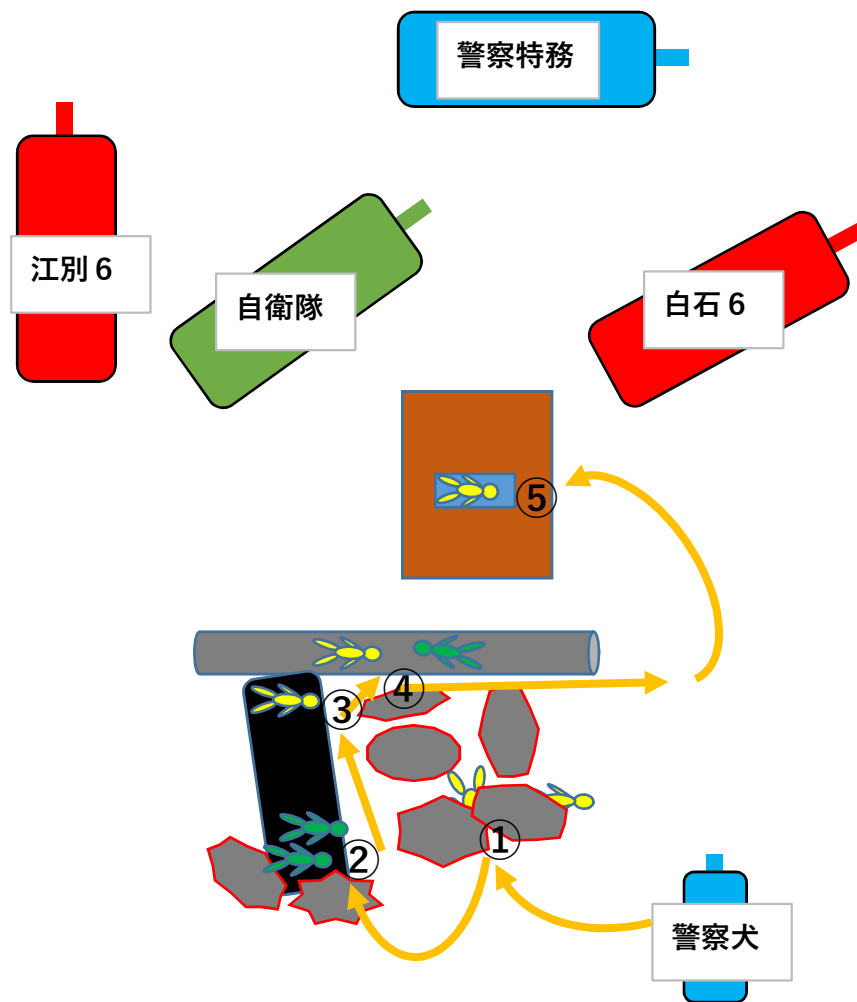
会場図



備考



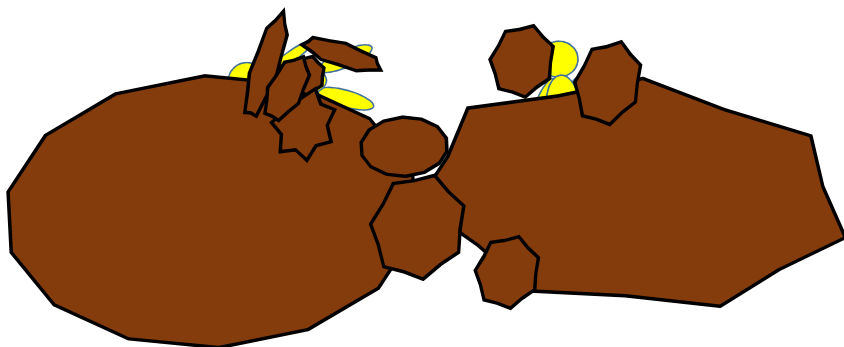


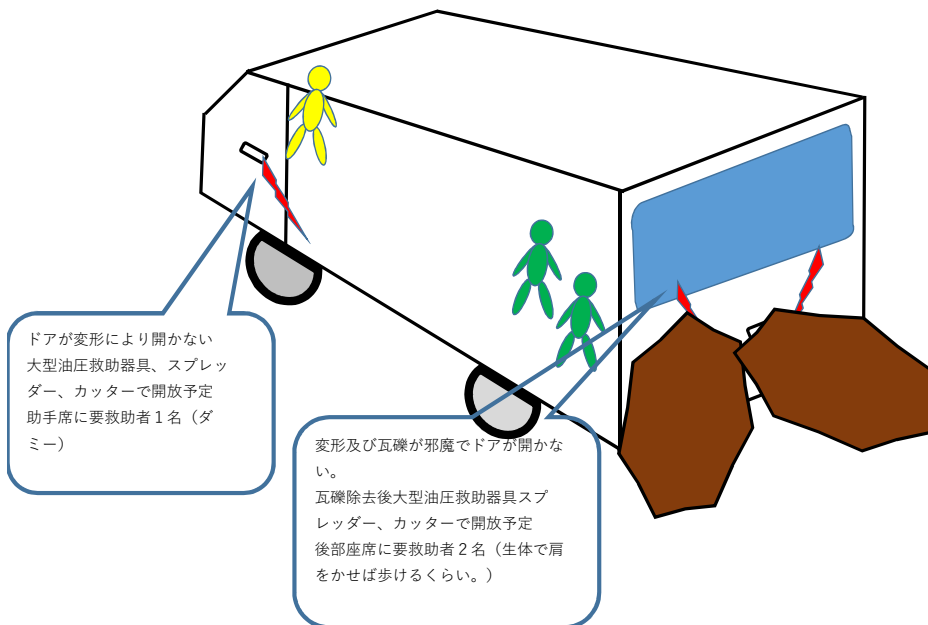


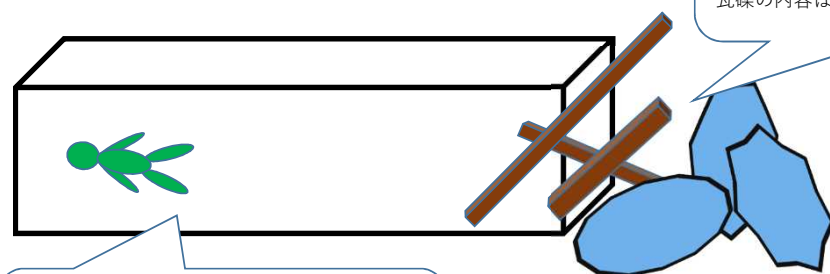
- ・ 緑が生体、黄色がダミー
- ・ ①～⑤の順番に発見していく
- ①は瓦礫にうもれ手足が出ている状態（二人とも人形）
- ②と③は同時に発見でも良い
- ④は中から音を出し二人同時に発見
- ⑤は高さが170cmあるのではしごを登れなければ接触できなくても良い。足場の隙間から進入し発見するか、白石の救助隊で発見する。



・大きな瓦礫に体幹部を挟まれているほか、小さな瓦礫にも埋もれている状態。

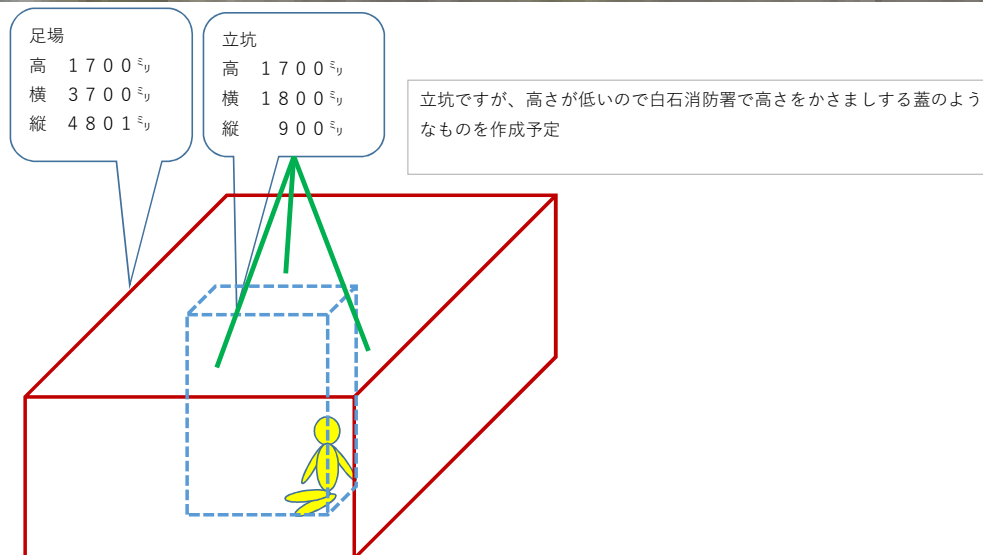


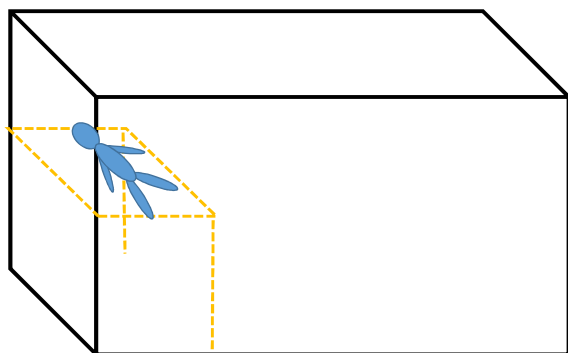


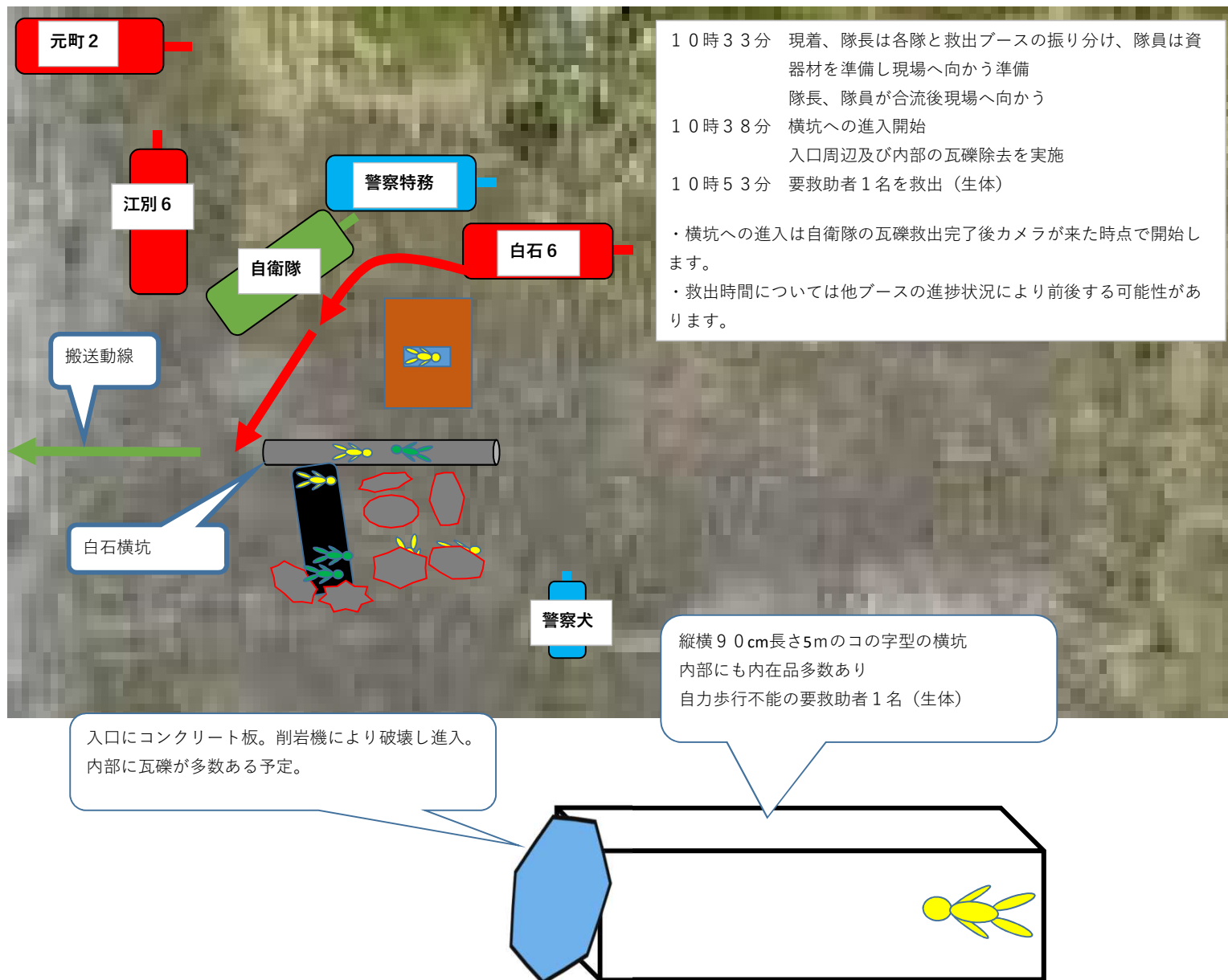


縦横90cm長さ5mのコの字型の横坑
内部にも内在品多数あり
自力歩行不能の要救助者1名（生体）

入口が瓦礫、木、瓦礫により塞がっている。
隊員1名なら進入可能なくらい。救出は不能
瓦礫、木は徒手、切断により除去可能。
瓦礫の内容は暫定です。







12 避難所開設・運営訓練（体験型展示）（調整担当：白石区役所）

実施時間（9：30～11：25）

9:30	9:40	9:50	10:00	10:10	10:20	10:30	10:40	10:50	11:00	11:10	11:20	11:30	11:40	11:50	12:00

訓練会場

東部スラッジセンター北側敷地（展示会場）

訓練想定

訓練概要

- (1) 展示会場内に避難所をイメージした展示を行う。
- (2) 見学者に段ボールベッドや暗証番号キーボックス、簡易トイレなどの設置体験をしてもらう。

参加団体及び人員

- (1) 白石区役所（4名）
避難所班職員（4名）
- (2) 地域住民（連合町内会 6名） ※映像撮影時の体験者役

参加車両等

なし

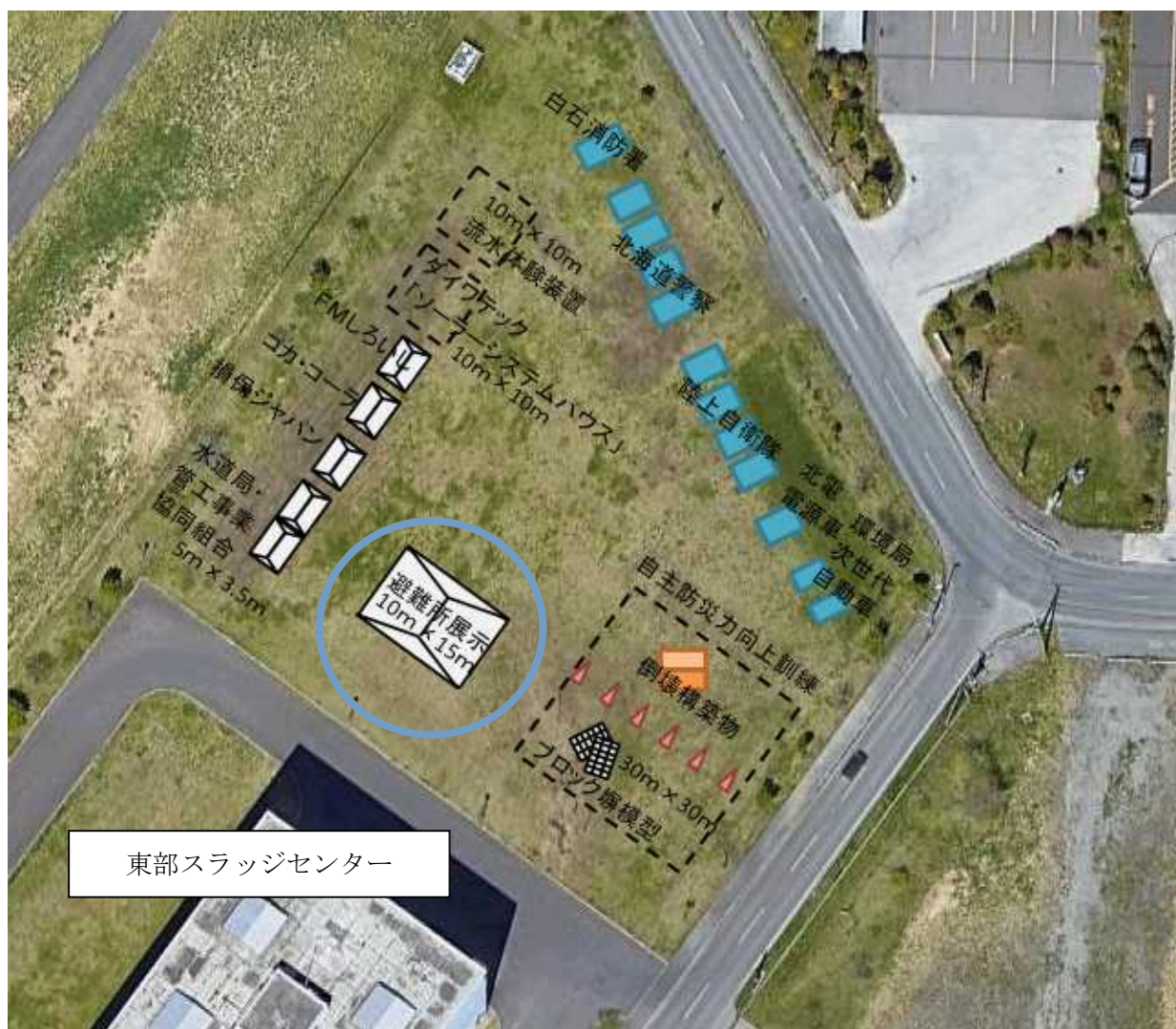
必要資機材

- (1) 机 8 台・イス 3 台（会場設営業者にて用意。）
- (2) 暗証番号キーボックス（危機管理局にて用意。）
- (3) 暗証番号キーボックス設置用パネル 1 枚（180cm×60cm 程度で自立するもの。会場設営業者にて用意。）
- (4) 避難所開設セット（白石区役所にて用意。）
- (5) 仮設トイレ（危機管理局にて用意。）
- (6) 毛布・寝袋各 3 枚（危機管理局にて用意。）
- (7) 段ボールベッド（白石区役所・危機管理局にて用意。）
- (8) 避難所用品・備品（危機管理局にて用意。）

訓練行動

9：30	展示開始
11:05	大型ビジョンでの紹介開始
11:10	大型ビジョンでの紹介終了
11:25	展示終了

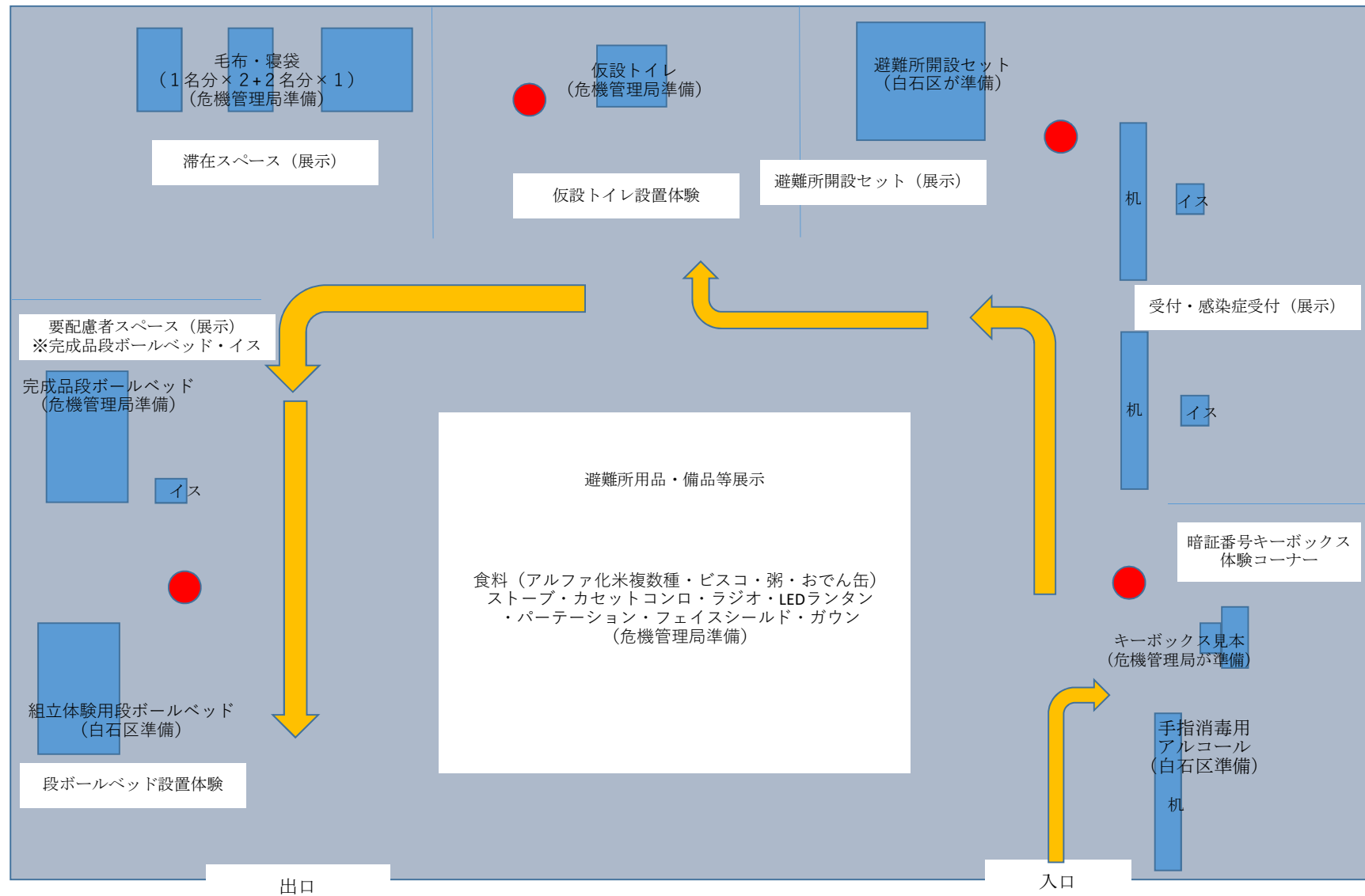
会場図



備考

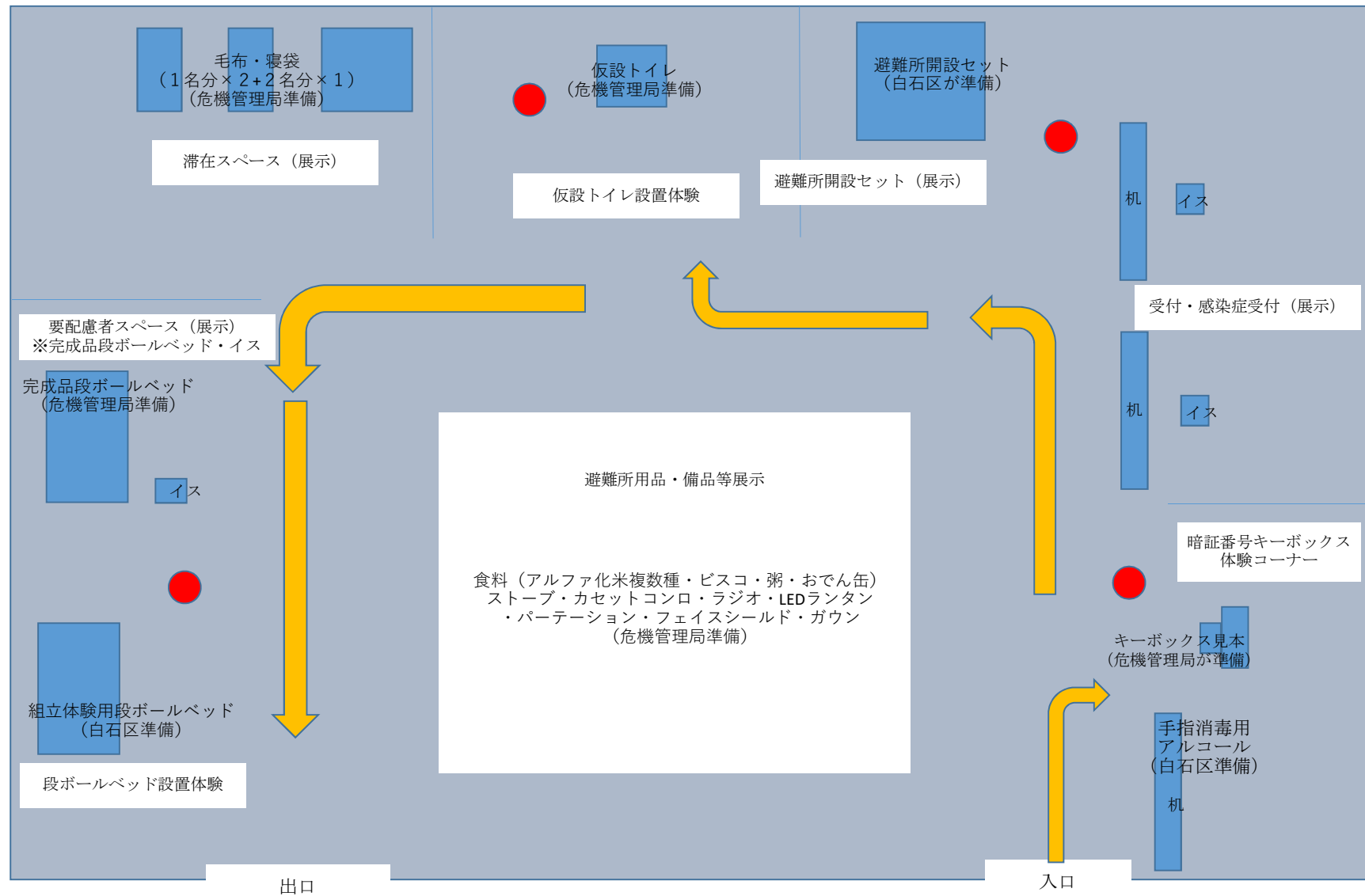
10m×15mのテントを想定

●：配置人員



10m×15mのテントを想定

●：配置人員



13 ライフライン確保訓練（調整担当：白石区役所）

実施時間（11：05～11：25）

9:30	9:40	9:50	10:00	10:10	10:20	10:30	10:40	10:50	11:00	11:10	11:20	11:30	11:40	11:50	12:00

訓練会場

東部水再生プラザ北側敷地（メイン会場）

訓練想定

地震により水道管が破損し、市民への水道水の供給ができなくなっている。市民への応急給水を行う。

訓練概要

- 大型ビジョンに水道管の破損していることを示す映像を放映する。
- 白石区災害対策本部より、札幌市水道局に対し、市民への応急給水を依頼。（ナレーション）
- 応急給水車の到着。市民参加での仮設水槽組立・給水体験

参加団体及び人員

- 札幌市水道局（2名）
- 江別市水道部（2名）
- 地域住民（連合町内会）（10名）

参加車両等

- 札幌市水道局（1台：応急給水車）
- 江別市水道部（1台：応急給水車）

必要資機材

大型ビジョン放映用映像（水道管破損映像）
 仮設水槽（水道局が用意）
 給水用袋（水道局が用意）

訓練行動

- | | |
|-------|---|
| 11:05 | 水道管破損映像。白石区災害対策本部より、札幌市水道局に対し、水道管破損の対応と市民への応急給水を依頼。 |
| 11:12 | 応急給水車到着（2台）
給水車（札幌）はホースの装着等を行う。
給水車（江別）は給水栓の装着等を行う。
仮設水槽の組立完了。給水車（札幌）が仮設水槽に注水。 |
| 11:20 | 仮設水槽及び給水車（江別）の給水栓により、市民に応急給水体験をしてもらう。
終了 |

会場図



備考